

千刈狸の呟き

勤務医の頃、年1～2回学会に行かせてもらえた。出張旅費をもらい、学会出席が目的であるので、学会期間中旅行気分で見学するのは気がとがめる。行きと帰りに一工夫することで旅を楽しんだ。長崎の時は、羽田までは飛行機で東京駅からは鉄道で行くことにした。開業間もない山陽新幹線に乗りたかった。博多からは在来線特急「かもめ」に乗継ぎ、長崎に着いたのは夜遅く、晩飯にありつけないまま旅宿に入った。列車の中では右に左に目を走らせ続け、疲れたけどうれしかった。熊本の学会へは、調べたら別府からやまなみハイウェイ（高速道路ではない）を通る定期観光バスがあった。羽田での乗継ぎは熊本行きではなく大分空港行きに乗った。天気は良く鶴見岳、由布岳を迎えられバス旅は始まった。乗客は私を入れて三人、九重連山を抜け、阿蘇に入る頃は私一人であった。その頃は既に日は暮れて阿蘇山はクッキリとは見ることができなかったが、大満足のバス旅であった。大阪・京都では帰りの特急「白鳥」が最大の楽しみであった。この時だけは奮発してグリーン車の一人席を使い福井を過ぎるとビールを解禁した。缶に口を着けて飲むのは旨くないので、紙コップを買おうとしたらコーヒー用だからと言うので、コーヒーはいらないが金は払うと言ったのに、コーヒーをドボドボとついでよこした。一悶着あったが、景色をさかんに呑むビールは最高であった。

宇都宮からの帰りは今市に行き鬼怒川線、野岩鉄道、会津鉄道と乗継ぎ、会津若松から磐越西線、最後は特急「白鳥」で帰った。この選択は大成功だった。

学会中サボって観光したこともあった。大阪の学会にA先生と行った時、2日目の朝食の時、このまま学会に出ます？と聞かれた。そのつもりと答えると折角だから京都に行きませんか？と誘われた。〇〇の囁きと言うのだろう。激しく心は揺さぶられた。京都に着くと、観光バスが一番手取り早いですよと。観光バスは初めてであった。金閣寺、知恩院、平安神宮、西本願寺、三十三間堂、そして清水寺を回った。良かった。手取り早かった。高校生の時、意地を張って修学旅行には行かなかったのが、初めての京都観光であった。A先生ありがとう。

～ 学会の思い出 ～

学会旅狸

やはり大阪の学会で、W先生と一緒にいた時、京都に行きませんか？と〇〇の囁きがあった。嵐山に着いたのは、丁度店が開く頃で渡月橋を渡り、湯豆腐屋に入り、ビールで乾杯した。石庭あります看板に引かれ、とあるお寺に入った。成程石庭があり、しばし眺めて外に出た。嵯峨野行のバスが目に留まったので、それに乗り大覚寺へ行った。バスで戻り東映太秦映画村へ行った。無条件で面白いところだった。近くに広隆寺があり、教科書で知った有名な半跏思惟像を見た。これで京都を後にしたが旅はまだ終わらない。明日はどうします？最終日である。高山へ寄って帰りませんか？と〇〇が囁いた。抗うは難く。翌朝高山本線特急「ひだ」に乗っていた。保存された古い街並を歩きソバ屋で昼食をした。うまいソバだった。高山祭で有名な山車の展示館を覗き、外にも見る所は多く、さすがの観光地であった。高山陣屋を巡りホテルで一休みした後、晩飯は居酒屋で取った。至る所「鬼ころし」の看板が目についたので高そうなのを買って飲んだが、あまりおいしくはなく四合瓶であったが、さすがのW先生も残っていた。翌日富山から特急「白鳥」で帰路に就いた。

学会出張に行かせてもらえたのはありがたかった。もちろん勉強もしたが、記憶に残っていることは少ない。旅の思い出は、心に残ることが多い。開業してからは学会に行くことはなく、専門医、認定医の更新ができず、資格を失ってしまった。

国際学会でヨーロッパへ2回行かせてもらった。2回目の時は学会終了後休みをもらい旅行に当てた。ジュネーヴからミュンヘンまでバスと鉄道で旅をした。シャモニー、ツェルマット、サンモリッツ、インスブルック、そしてザルツブルク。それぞれ2泊ずつで旅は終わった。平成から令和に変わったとき、祝日に便乗して12連休として娘の居るトロントへ初めて行くことにした。バンクーバーまでは飛行機で、そこから鉄道で4泊5日かけて大陸横断鉄道で行った言葉の不自由はあったが、大満足の旅であった。次はシベリア横断鉄道か？旅はまだ終わらせない。